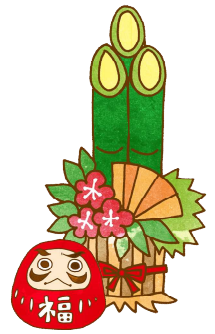


ほくとライブラリー 



# 新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 217

R2. 1月号

あけましておめでとうございます 

2020年もどうぞ新屋図書館をよろしくお願ひいたします。

職員一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

## 1月のおはなし会

1月11日(土)

14:00~14:40

お正月遊び

~絵本・お正月遊び~

研修室

幼児~小学生

1月21日(火)

10:30~11:00

あったかいおはなし会

~ふれあい遊び・絵本~

おはなしの部屋

赤ちゃん~ 

## 新刊案内

### ゼロ・シュガー・ケーキ

吉川 文子／著

主婦と生活社 請求記号 596 (菓子)

カロリーゼロ・・・なんて素敵な言葉・・・(うっとり)。

健康上の理由や体についてお肉が気になって糖質制限をしなければならなくても、甘いものを全て断ち切るのは難しいもの。そこで役立つ、糖質を抑えつつも甘くて美味しい、初心者でも作れるケーキのレシピ集をご案内します。



### なぜ迷う？複雑怪奇な東京迷路（ダンジョン）駅の秘密

田村 圭介／監修、造事務所／編

実業之日本社 請求記号 686 (駅)

東京の大きな駅で、いま何階に居るの？同じ駅名の乗換え改札に辿り着けない、目的地に最短距離で向かうことも、待ち合わせをしても会える気すらしらない、なんてことはありませんか？苛々したり途方にくれたりする前に「なぜ？」と好奇心をもって楽しんでしましましょう。



### 最新改訂版 子どもと親のためのワクチン読本

母里 啓子／著 えのきのこ／マンガ・イラスト

双葉社 請求記号 493 (ワクチン)

さまざまな病気から体を守るためのワクチンと予防接種について、マンガを交えてわかりやすく解説されています。こちらは「基本的に健康な赤ちゃんにはワクチンは使わない」という立場で書かれていますので、両方の意見を読み比べたうえで参考にしてください。



### 赤毛のアン

ルーシイ＝モード＝モンゴメリ／作 岸田 衿子／訳 安野 光雅／絵

朝日出版社 請求記号 92 モ (外国文学)

「想像すること、夢見ることは素敵なこと」そばかすだらけの赤毛の女の子。詩人で童話作家の岸田衿子さんが翻訳。衿子さんが亡くなってからこの翻訳の存在を知った安野さん。衿子さんの筆力がこの本にすべて集まっているとあとがきで絶賛。安野さんの優しい挿絵も魅力的。



## 図書館員（近間 華奈子）のおすすめ本

書名	妖怪アパートの幽雅な日常
著者名	香月 日輪／著
出版社	講談社
所蔵	新屋、明德、土崎、河辺 請求記号 91 コ （ 小説 ）



迷って迷って、やはりこの本を薦めずにはいられなかった。

人間には見えない人間、人間にしか見えない妖怪、人間に見えるたぶん…人間。個性的な住人たちが暮らすのは、トイレ共用洞窟風呂付、光熱費・水道代・賄い費込み2万5千円の“妖怪アパート”。両親を亡くし、自立を目指して商業高校に入学した主人公・夕土は、ひょんなことからこの妖怪アパートに住むことになる。

この本の最大の魅力は、アパートの住人たちの含蓄のある言葉の数々。人間も妖怪も、それぞれの経験を、自分の血肉にした言葉で語る。作中で語られる多くの名言は、成長真っ最中の夕土の、そして読者の心に深く響く。子どもでも大人でも、迷い悩み不安を抱く人たちに、一度立ち止まり、自分の立ち位置を見つめなおすために読んでもらいたいシリーズだ。

ああ、妖怪アパートに住みたい。

## 図書館員（金谷 真美）のおすすめ本

書名	今日もひとり、ディズニーランドで
著者名	ワクサカ ソウヘイ／著
出版社	イースト・プレス
所蔵	新屋 請求記号 Fワ （ 小説 ）



仕事はない、恋人もいない、学生時代に貯めたバイト代だけはある。そんな23歳の僕が、有り余る時間を使ってディズニーランドに通うお話です。

父に「なにか行動しろ」と言われて向かった先はディズニーランド。理由は、高校時代好きだった女の子がバイトをしているから。逆にうらやましい。

遊び歩いていることが父にばれて、家を追い出された僕。向かった先はやはりディズニーランドでした。園内を歩いていると、幼き日の父との思い出が蘇る。初めて父と来たディズニーランド、家族で行ったキャンプ、いつも僕のことを思ってくれていた父…。

最初は笑いながら読んでいたのに、最後は家族愛に感動する。そんな1冊です。

## 記事になったお酒の話題あれこれ… “北限の桃” を救え…

昨年12月1日より、鹿角市の“北限の桃”を使用したスパークリング酒が販売されています。

こちらに使われているのは、昨年9月に台風で大きな被害を受け、糖度不足などで規格外となってしまった桃。それを秋田県出身の伊藤美奈子さんが社長を務める酒類輸入販売会社・ルーチェが買い取り、宮城県の醸造所が仕込んでスパークリング酒にしました。

ちなみにこの商品、地域の特産品をスパークリング酒にするシリーズ「フルーツリング」の第1弾。今後の展開も楽しみです！

新屋は、醸造の街。  
新屋図書館には、酒の  
資料コーナーがあります。

【参考資料】

秋田魁新報

2019年12月11日

## 平成ってどんな時代？ …平成31年、そして令和へ…

平成31年（2019年、令和元年）。4月1日、日本中が注目する中、新元号「令和」が発表されました。「平成最後の〇〇」という言葉を耳にした方も多いのではないのでしょうか。GWは10連休。新天皇即位を祝う一般参賀に多くの人を訪れるなど、祝賀ムードに包まれました。

スポーツ関連の話題も多い年でした。ラグビーW杯では日本代表チームが躍進。悲願のベスト8入りを果たしました。また、県内出身の吉田輝星投手がデビュー戦初勝利、女子プロゴルフの渋野日向子選手が全英オープン優勝で時の人となるなど、若い選手も活躍しました。

10月には消費税が10%に。還元などの恩恵があることから、キャッシュレス決済も広まりつつあります。様々なことがあった2019年。オリンピックイヤーの2020年はどんな年になるのでしょうか。

【参考文献】『平成史全記録』

【参考】「時事通信フォト」WEBサイト <https://www.jijiphoto.jp/> 「読売新聞オンライン」WEBサイト <https://www.yomiuri.co.jp>

## 図書館員のひとりごと

昨年開催した『スペシャル大人のためのおはなし会』に参加した男性が、翌日図書館で会ったお友達に「おはなし会に出たら、たいしたおもしろもんだ。図書館っていろんなごととしてるが、毎日こねばねもんだ」と図書館の宣伝をしてきていました。おはなし会と言えば子どものものと思いがち。でもテレビからの機械を通した音じゃない生の声で、一緒の場所で、快い言葉で語りかけられたり、歌ったりするのが幸せで楽しいのは大人も一緒。寒い季節ですが図書館へお運びください。そして、おはなし会を楽しむ子どもたちを見るのも幸せな気持ちですが、どうぞ大人の方もご参加を。  
(吉田)

我が家には時々カモシカがやってきます。裏の畑をのんびり歩き回る可愛い姿にとても心が癒されます。…遠くで見ている分には。

幼い頃、裏の畑で友だちと遊んでいると、気付けば後ろにカモシカがいたことがありました。あんなにかわいいカモシカ。近くで見るとなんだかでかい…。怖くて動けなくなった私は、友だちに助けを呼んで来るように頼みました。それからすぐにやって来たのは、長い竹を携えた祖母。祖母は大声で「やーっ！」と叫ぶとカモシカに向かってヤリ…ではなく竹を突出し、追い払ってくれたのです。祖母は強し。あの勇ましさは、今でも忘れられません。  
(近藤)